

## 交流集会 3

### 「親育ち支援プログラム Nobody's Perfect の実践紹介」を開催して

米田 昌代  
(石川県立看護大学)

私たちは、今回2007年3月より計6回実施してきた親育ち支援プログラムNobody's Perfect (完璧な親なんていない) についてみなさんにぜひ知っていただき、いろいろな場に取り入れていただきたいと思いますと思い企画しました。どんな方たちが参加してくださるのかと思っておりましたが、臨床の方を中心に、教員、学生等幅広い参加を得ることができ、大変感謝しております。

まず、最初にこのプログラムを実施するにあたり中心となっております西村真実子がこの交流集会の企画主旨を説明させていただき、その後、プログラム実施メンバーである東雅代から私たちのプログラムのもとになっているNP (Nobody's Perfect) について、プログラムの歩み、日本での実施状況、プログラムの目的・対象者・教材・実施上の注意・アウトライン、ファシリテーター、主催者について具体的に述べさせていただきました。そして、私の方からは私たちがNPをもとに虐待予防の糸口的支援として実施してきた育児不安・困難の強いグループに対するNP (育児不安・困難 NP) についてそのねらい、実際のセッションのテーマやディスカッションの様子を紹介し、これまで行ってきたプログラムの評価と課題を説明させていただきました。その後、NPを取り入れてくださった主催者の立場として金沢市こども福祉課の矢田博子様からはプログラムの効果と行政の立場からの課題について、実際地域でプログラムを実施された津幡町社会福祉協議会親子サロ

ンの村中智恵様より親子サロンの現状を通して長年の支援の経験をもとにNPの必要性について述べていただきました。

進行の不利で村中様には最後まで、十分お話していただけなかったのではないかと、また会場と十分に交流する時間が少なかったのではないかとということが反省点として残りますが、NPについては参加したみなさんには素晴らしいプログラムであるということは伝わったのではないかと考えております。会場からは、夫や祖父母に対するプログラムはないのかという質問もあり、今後、育児に関わる様々な対象に広げていく必要性も感じられました。また、今回臨床の方が多かったということで、産科におけるマタニティクラスや小児科における病児の母親に対しても実施していけるのではないかと考えております。ぜひ、多くの場所で、いろいろなお母様方に実施されることを願っています。興味のある方はぜひ、ファシリテーターを取得していただき、私たちと連携して一緒により多くのお母様方を支援できたらと考えております。私たちも行政からのご意見も参考にし、今後もよりよいプログラムになるように検討を重ねていきたいと考えております。

講師の矢田様、村中様、ご発言いただいた方、参加していただいた方、本当にありがとうございました。皆様にとって、今後の子育て支援の方法のひとつとして考えていただく機会になれば幸いです。